

# 東京片貝会報

発行 東京片貝会  
埼玉県新座市栄1-5-5  
(〒352) 阿部修次  
電話 0484-78-4494

### みんなで、片貝健児の意気を

### 示そうではありませんか (総会案内)

期日 平成7年6月25日(日) 午後一時〜四時  
会場 箱崎シティエターミナル、団体待合室  
(中央区日本橋箱崎町42-1) ☎03・3665・7162

新緑薫るよい季節となりました。  
今回も新年と同じ会場で、36回目の総会を開催します。故郷の方々にも  
ご案内してあります。お友達とお誘いあわせの上、ご出席下さい。  
出席の方に、片貝農協より米1kgが贈られる予定です。

- 記
- 一、日時 平成7年6月25日(日) 午後一時(正午より受付)
  - 一、会場 箱崎シティエターミナル、団体待合室。中央区日本橋箱崎町  
営団地下鉄 半蔵門線、水天宮前下車3分。  
日比谷線、都営線、人形町下車10分。案内図参照
  - 一、会費 六〇〇〇円(男性) 五〇〇〇円(女性)
- お願い 返信は6月16日までに届くようお願い致します。

### 会費値上げについてのお願い

会費を千円とさせて頂いたのは、昭和60年度からで、  
その後本年まで11年間、そのままとなっております。  
以後郵便料金の再度の値上げ、印刷費の高騰などにより  
会の運営に支障を来たす結果となりましたので、平成8年  
度から二千円とさせて頂いたこと、お願い申し上げます。

### 同級会だより

和后会(昭20)  
1月28・29日 同級会の新  
年会を兼ねて、箱根へ一泊旅  
行を楽しんだ。(同級会の近況  
をぜひお知らせ下さい)

## 会の動き

**新年会** 1月29日  
シティエターミナルに  
て。勝又前会長に感謝状贈呈  
二面参照

**新旧役員会** 3月5日  
駒込に集って、引き継ぎと  
懇親会を開く。母校励ます会  
の代表佐藤祐一氏が辞意表明

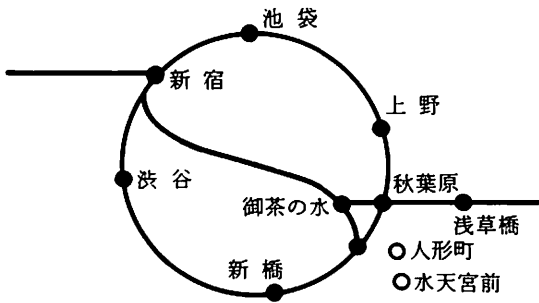
**役員会** 4月16日  
母校を励ます会の運営につ  
いて話し合ったが、結論に至  
らず、持ち越しとなる。  
上野にて

**役員会** 5月13日  
総会準備のため関係役員が  
シティエターミナルで話し  
あった。

### 母校の先生の異動

4月1日

中学校長 酒井勝吉先生  
長岡教育委員会より  
前小林校長は、生涯学習セ  
ンター長へ栄転  
小学校教頭 倉田七太郎先生  
長岡希望が丘小の教頭より  
前高橋教頭は、北浦の駒林  
小学校長に栄転



### 乗継・乗換の案内

JR	池袋	丸の内線にのり	大手町で半蔵門線	水天宮前下車
"	新宿	"	"	"
"	上野	"	"	"
"	秋葉原	"	"	"
"	浅草橋	"	"	"
"	御茶の水	半蔵門線にのり	都営浅草線にのり	人形町下車
"	新橋	"	"	"
"	茨谷	"	"	"
"	池袋	日比谷線にのり	"	"
"	新宿	"	"	"
"	上野	"	"	"
"	秋葉原	"	"	"
"	浅草橋	"	"	"
"	御茶の水	"	"	"
"	新橋	"	"	"
"	茨谷	"	"	"

箱崎シティエターミナル 団体待合室  
人形町下車10分  
水天宮前下車3分

### 転居・表示変更

昭和4	平野	佐和	242	神・大和市下鶴間1614-86 (0462-77-3462)
20	野地	キイ	340	草加市谷塚上町92-1
21	沼田	愛	140	品川区西大井1-11-12 サニーハイツ105 (03-5709-3822)
22	吉原	栄一	285	佐倉市西志津3-22-10 (043-489-6611)
"	大塚	順一	143	大田区中馬込3-23-14-202 日神パレステージ馬込 (03-5709-6650)
27	佐藤	祐一	231	横浜市中区弥生町5-48-2 ライオンズマンション阪東橋前903 (045-243-2219)
28	矢尾	板文	222	" 港北区太尾町144 (045-531-8825)
30	小林	正雄	224	" 都筑区東山田町286 (045-591-6385)

逝去 (瞳んで哀悼の意を表します)  
昭和5 本田寛治郎 (平6・12・21) 昭和19 山口文三 (平成6・6・15)

### 退会希望

大正6 堀山 すま (横浜市) 昭和9 山田みい (横浜市) 昭和22 木村 睦子 (船橋市)

# 新年会は空港待合室で

平成7年1月29日(日)  
箱崎シティアターミナル



冬とはいいい暖かい一日だった。役員も参加者も一新して若返り、ふんいきもがらりと変って明るい。司会は大塚順一氏。まず阪神大震災に被災された方に黙禱を捧げた後、会長挨拶。

会長をお引受けして、秋祭り、励ます会、中学校体育館の落成式に出席して、今更のように故郷の発展ぶりに感銘を受けた。私達も頑張らなければ、と心を新にした。今後ともご鞭撻をいただきたい。

続いて勝又前会長に感謝状と記念品(花瓶)を贈呈した。お礼のことがあって、佐藤彦一相談役の乾杯で、懇親会となる。

阿部会長が、片貝から提供を受けたしやぎりの音楽が流れる中、楽しい語らいが展開された。

今までの県人会館と違い、落ち着いた気分になる。話も弾んで、いっそうの賑わいとなった。

佐藤元会長の挨拶もあり、相崎善次郎相談役が締めくくって、新年会が終了した。

出席者(81名)  
大正 佐藤量八

昭和2~10

- 相崎勇次 本田政秀 早川松太郎
- 芝 五郎 浅田鉄二 日下部政子
- 吉井六郎 山口三郎 相崎善次郎
- 佐藤フミ 芋川とし 藤田 睦子
- 丸山 春 勝又 功 黒崎 孝造
- 小宮竹次 田口タズ 黒崎敬五郎
- 大内登世 朝妻ヨシ 本田 松次
- 佐藤彦一 芝三四司 小宮 良夫

## 母校 いき生き

- 石黒ミス 石上健次 勝又 功
- 黒崎孝造 高橋忠夫 小田原ミツ
- 黒崎 勇 長野チイ 山口武二郎
- 杉浦ヨキ 三井ミヨ 小宮 繁雄
- 石上フミ 川村朝子 内山 キミ
- 佐藤秋治 青木富代 鈴木 すよ

- 江沢キヨ 星 シズ 黒崎 晴郎
- 新野次朗 豊島文枝 青木マツエ
- 本田善一 安達 進 奥瀬 洋子
- 久賀友作 小宮信雄 軍司 雅子
- 平沢和子 山口 武 稲川 恵子

### 小学校

#### 震災の神戸から疎開

町裏の五十嵐重雄さんのお孫さんが転校してきた。三年と二年の姉弟。お母さんが神戸に嫁いで十二年になる。二人はみんなに暖かく迎えられる。勉強に励んでいた。

#### 作文最優秀に輝く大矢君

県では毎年、明るい家庭づくり作文コンクールを実施している。

この度六年の大矢重紀君が「おとうさんの手」を綴って入賞した。農協に勤めているお父さんの働きぶりを、手を

テーマとして、家族思いの父に対する敬愛の気持ちが述べられている。具体的で、読む者に感動が伝わってくる。

一輪車が増えた  
郷里のリサイクル運動については、すでに紹介した。

新聞紙、ダンボール、空き缶など例月集めており、年間

一万三千kgの実績があった。その収益金の中から、一輪車三台を購入して、年度末に母校へ寄付した。合計五台。前に購入したのと合わせて二十五台。中学校にはベンチが贈られた。

### 中学校

#### 近県強豪チームとバレー大会

12月10・11日 体育館の完成を期に、近県や県内各校の強豪を招いて、二日間熱戦が展開された。全部で22チームが参加した。

県外から富山、石川、福井、群馬の四県、県内、市内からも多数参加した。いずれも女子チーム。

母校チームは準決勝で敗れたものの、三位と健闘した。この企画は保護者会で、総勢三百五十名の宿泊や送迎、接待まで一手にひき受けた。

体協の吉原芳郎会長をはじめ

一同大奮闘。バレー県代表に三重堀さん(三重堀紀子さん(一之町))は、12月25日大阪に開催された全国大会に出場して、活躍した。バレー部の主将を務めていた。

#### 市民バレーボールで優勝

12月18日 市内五中学と見附市の13チームが、谷中の体育館で戦った。母校Aチームが優勝した。

バスケット招待試合  
1月14・16日 秋田、石川県、県内の高校や中学校の六校、母校、OBチームが参加して、新体育館で試合が行われた。片貝チームの指導も兼ねていた。

一年生から新しい制服で校舎も新しくなったから、制服もブレザーでというわけ。

市内では初めて、値段も一割ほど高めたが、生徒からは好評の由。

旧校舎はこう変わる  
木造校舎は三月半ばから、取り壊し作業が始まった。

鉄筋校舎の一階は駐車場に二階と三階は教員住宅となる全部で十二戸、生活できるように改造される。

体育館は町の体育館として利用されることに決まった。

青巒荘花見の旅 (16回)

花は三分咲きでも

楽しかった懇親

四月八・九日

夕刻までに青巒荘へ集まり  
露天風呂や大風呂で汗を流す  
いつきても、心の安らぐ温泉  
である。

料理は最高、顔もほころび  
歌もはずんだ。話は尽きな  
かった。

翌日はよい天気恵まれ、  
花見台へ足を伸ばす。花はこ  
れから満開というところだが  
また風情があつてよかった。  
みんな伸び伸びとくつろい  
で、語りあつた。帰路は、箱  
根廻りと湯河原廻りに分れて  
山を下りた。

楽しい一日でした。  
参加者九名

### 会員短信

(敬称略)

友田勇四郎 (昭2)

地元の老人会新年会とかち  
合いましたので

吉原菊枝 (昭9)

お陰様で元気に過ごしてお  
ります。

安達三好 (昭12)

当日川崎県人会の新年総会  
があります。



佐藤彦一 太刀川善蔵  
小宮幸雄 新野次朗 黒崎正  
神林勝夫 阿部修次  
相崎達一 小野塚茂

黒崎音吉 (昭13)

銃剣道の会合と重なりまし  
た。残念です。

大矢常吉 (昭15)

同級会の集まりには沢山出  
席されますが、全体となると  
少なくなりますね。

松下利夫 (昭18)

商店街の節分豆まきがあり

ますので

星シズ (昭19)

初釜があり、欠席します。

相崎邦彦 (昭23)

会そのものについて知識不  
足です。詳しい情報を期待し  
ています。

安藤真理子 (昭26)

いつも会報ありがとうございます。  
会をお祈りします。

本田正弘 (昭28)

町会の役員会があり、今回  
は出席できません。

吉原武夫 (昭28)

会報はいつも楽しい。故郷  
が身近かに感じられます。

中山静江 (昭29)

会報いつもありがとうございます。役  
員の皆様に感謝!

新会長・役員に期待

左の方より激励のことば  
をいただきました。

神林健次 (昭6) 中野みちよ

(昭16) 清水松次 (昭17) 松  
土美津枝 (昭19) 生亀文子

(昭21) 松本アイ (昭24) 本  
田善一 (昭26) 佐藤キイ (昭

26) 本田秀幸 (昭37)

早く元気になって

体調が悪く、出席できない  
との便りもいただきました。

安達宗吾 (大13) 高橋清雄

(大15) 藤塚栄三郎 (昭4)

結城正五 (昭6) 大矢幸治  
(昭7) 長野チイ (昭9) 本  
田幸男 (昭24)

### 墨游書展 (第17回)

郷里が誇る書家黒崎敬深氏

(昭6)の発表会が、昨年秋10

月7日から12日まで、銀座の

かねまつ画廊で開かれた。

多彩な作品が、会場内で観

賞する者に、ズシンと響くも

のある。いつまでも去り難い

ふん田気をかもしつた。

また会員丸山恵次氏 (昭

14)は、去る日書展で賞を受



真心は尽きることなく

### 母校を励ます会・報告

この活動が始まってから、  
十三年目を迎えることになっ  
た。当初は五年間位を考えて  
いたが、新会長の阿部さんも  
これからも継続したい、と強  
い決意を示している。

今度の総会にも、十三回目  
の図書が贈られる予定です。

今回の基金にご協力いただ  
いた会員は八十三名。ほんと  
にありがとうございます。

大正

帰山すま 佐藤正雄 佐藤 量八

安達宗吾 永井正雄 安達 清次  
昭和2・10

けられた。  
このほか書芸に励んでいる  
会員がおられるよう知悉の  
方があつたら、ご紹介を。

### 区議に当選

今春の地方選で、西山和子  
さん (昭19) の夫君、信男氏  
は港区議選で五選を果たされ  
た。又、安達徳太郎氏 (大15) の  
長男一男氏は江東区議選で、  
四選。おめでとうございます。

- |         |      |       |
|---------|------|-------|
| 本田政秀    | 吉井六郎 | 早川松太郎 |
| 野上フミ    | 堀井豊作 | 相崎善次郎 |
| 長野チイ    | 三井ミヨ | 長谷川ウメ |
| 大塚文雄    |      |       |
| 昭和11・20 |      |       |
| 小宮繁雄    | 小宮秀夫 | 広川久美子 |
| 横田トシ    | 山田チエ | 内山 きみ |
| 関 牙子    | 青木富代 | 中野みちよ |
| 小宮八重    | 佐藤道雄 | 木村百合子 |
| 松下利夫    | 安達 実 | 野地 キイ |
| 山口光雄    | 小宮幸雄 | 氣田 登美 |
| 城所テル    | 和田豊次 | 山口 光雄 |
| 浅田松夫    |      |       |
| 昭和21・30 |      |       |
| 小高君子    | 石橋 孝 | 安達 吉秋 |
| 阿部修次    | 新野次朗 | 吉原三代治 |

### 母校を励ます会・会計報告

会報50号以後の収支 (平成7・1・1~7・5・31)

取 入	¥194,283	支 出	¥4,150
基金 (83名)	194,000	郵 券	4,150
利息	283		

通算会計 (昭和58・5・1~平成7・5・31) 1983~1995

取 入	¥3,895,367	支 出	¥2,847,684
基金 (延1152名)	3,604,700	寄贈図書 (12回)	2,600,000
寄付	35,000	講演会 (13回)	130,000
利息	255,667	会報補助	35,000
		印刷・郵券	82,684
現在高	¥1,047,683		

- |         |           |       |
|---------|-----------|-------|
| 黒崎 正    | 吉原新作      | 安達 太一 |
| 吉原栄一    | 山本文子      | 中村恵美子 |
| 宮沢道子    | 本田文夫      | 渡辺チエ子 |
| 後藤イ子    | 豊島文枝      | 中村恵美子 |
| 新沢須美    | 佐藤祐一      | 宮田ウタ子 |
| 関 文子    | 黒崎紀雄 (2回) |       |
| 丸山良司    | 高橋一郎      | 小松原美枝 |
| 久賀友作    | 松本キイ      | 小川祐記子 |
| 鯉島昭雄    | 嶋川久江      | 三重堀栄一 |
| 鈴木アヤ子   | 本田十三雄     |       |
| 川合和子    |           |       |
| 昭和31・39 |           |       |
| 田口操     | 軍司雅子      | 小宮 善興 |
| 浅田達夫    | 大塚功績      | 渡辺 信夫 |
| 吉井信三    | 天野八重子     |       |
| 大阪 大矢三郎 |           |       |

(敬称略)

# ふるさと・は・今

平成6年12月から  
7年5月まで

## 市議選に四氏当選

定員二五名の所へ二六名が立って、少数激戦となったが片貝からは従来通りの四氏が当選された。町のために一層の尽力をお願いしよう。  
吉原正幸氏 関 広一氏  
安達 稔氏 小林光紀氏  
関氏は七選、最多選である。

## 熱気球ライセンス、女性一号

市議会で、関、吉原両議員

## 誕生

一之町の小野塚明子さんが県内初のライセンスを取得した。ご主人の昇さんはその先輩であり、一男三女の母親。お母さんに乗せて、親孝行もした。今後の活躍を期待したい。今後の活躍を期待したい。  
佐藤邸跡地について  
12月14日

12月14日

12月

## 賽の神、本年も盛大に

本年の主役は、成人の平成

1月15日

## 東京片貝会・会計報告

(自平成6・4・1 至平成7・3・31)

収入総額	¥1,963,468	支出総額	¥1,963,468
前年度繰越	606,568	総会費	335,171
(別途積立)	400,000	(会館払)	304,821
(繰越金)	206,568	(お車代)	20,000
年会費	516,000	(お土産)	10,350
総会々費(47名)	235,000	新年会費	399,142
新年会々費(73名)	415,000	役員会費	96,600
祝儀・寄附	188,900	印刷費	43,500
預り金	2,000	通信費	173,072
		事務費	25,697
上記の通り報告いたします。		会報費	183,398
平成7年3月31日		(49号・50号)	
会計 新野次郎	交際費	54,068	
〃 相崎達一	交通費	23,580	
〃 吉井信三	雑費	13,490	
上記は適正であることを認めます。	振替手数料	21,700	
	次年度繰越	594,050	
会計監査 吉原三代	(別途積立)	400,000	
〃 佐藤孝二	(繰越金)	194,050	

会と42才のじ会。福餅まきや、花火、仕掛けも揚って賑わった。  
自慢の大賽の神にも点火され、天を焦がさんばかりだった。甘酒のサービスもあり、一年間の無病息災を祈念した。



新郵便局、完成 1月17日  
外観は片貝の貝のイメージで作られた。  
局は明治七年に創設され、本年で百二十年目、局舎としては四代目となる。最近駐車場がないため、不便であったが、今度旧片貝駅の跡地に建設されたので、その不便も解消された。

老朽化した近年は、廃局、縮小などの声もあったが、五十嵐藤雄局長を始め、町民の

熱意が実って、従来通り特定局として完成した。これからは、地元活性化の拠点としても活躍が期待されている。  
落成式には星野行雄、桜井新代議員、小千谷市長らが出席して、祝ってくれた。

本年の積雪 1月20日現在  
片貝中で測った積雪は、昨年の33cmを越す81cmであった。最高は1月18日の90cm。昨年は2月14日が最高で85cmだった。本年は昨年比にして、やや多かったことになる。  
農協のシンボルマーク募集  
3月末日〆切

どんな作品が集まったか。早くお目にかかりたい。  
新発田から空手合宿に  
4月1〜3日

新発田にある敬愛大の七名が、ふるさと会館に寝泊りして、小学校の体育館で、猛練習に励んだ。  
同大学の黒崎健一さんは、光武会(会長小林光紀氏)の所属であり、片貝の地を選んでやってきた。小林師範の指導もあって、成果は十分挙げられた。

大活字本を贈る 4月  
二之町の小野塚彦一さんは歩け歩け協会に所属して、各種の賞を受けている。現在58才であるが、75才頃までには地球一周分の4万km達成を期

している、という。  
亡き奥様の意を汲んで、大活字本五十八冊をこの度寄贈した。これまでに百数十冊にのぼるといふ。  
協議会長吉井陽(きよし)氏  
4月5日

これまで三期六年間勤められた山口益宏氏に替って、就任された。四之町出身。公民館長だった。山口さんには片貝会も、お世話になった。心から謝意を表したい。  
訂正 前号の山王様は天王様の誤りでした。

## あとがき

30周年記念誌(平成元)をお読み下されれば分かることですが、安達龍作会長の時には会報は年一回発行で、13回まで。その後私の時から年二回とした。以後本年で51号を数えることになった。いつの間にか20年近くの歳月が流れた思えば感無量である。今度、小宮善興氏(昭31)が引き受けて下さることになった。  
会の動脈である会報の継続と発展を切に祈ります。



(佐藤)